



11.若き日のタケ、幼少の修治、青年の太宰のブロンズ像
(自由にふれていただくため点字もつけております)

11.The Statue Of Dazai Osamu and Koshino Take (You can use braille.)



1.ロビー
太宰治の長女津島園子さんの描いた絵画などを展示。
拓本体験コーナー。

1.Lobby
There are many pictures here painted by Sonoko (Dazai's
eldest daughter).



10.太宰治文学碑 長女 津島園子書

10.The Monument Of Dazai Osamu
Written by Sonoko (Dazai's eldest daughter).



3.タケと太宰の出会いと生涯
越野タケと太宰治の年譜や写真、思い出の
品、パネルなどにより解説。

3.The Life Of Dazai And Take
There are photographs, articles, and a chronologi-
cal table about Koshino Take and Dazai Osamu.



2.小説「津軽」の誕生/小説「津軽」のたどった足跡
「津軽」が執筆されるようになった経緯や太宰の訪れた地を
文章・写真・地図で紹介。
2.The Birth Of The Novel "Tsgaru" / Details About "Tsgaru"
The reasons why Dazai wrote the novel, and some of its details
The text, pictures, and map describe places Dazai visited.



6.映像音声コーナー
タケや娘節さん、太宰の合成音声、長女園子さ
んの映像や音声を自由に選択できるコーナー。

6.Movie And Sound Corner
You can listen to the synthesized voices of Dazai,
Take,and Setsu, and you can watch a video about
his daughter Sonoko.



4.タケと太宰の再開 / 5.パソコン情報検索
太宰とタケ、小泊の見どころ、小泊を訪れた著名
人などをパソコンで選択。感動的な掛小屋の再
現。津島家で使用した孔雀螺鈿蒔絵大平と、黒輪
島塗の鳥台を展示。

4.The Life Of Dazai And Take / 5.Computer Search Corner
You can find information about tourist spots in Kodomari,
and about celebrities who have visited this
area.On display is a bowl and a diorama
used by Dazai, and a re-creation of the
scene of the hut.



8.小泊ゆかりの作家平田小六コーナー
下前小学校で先生をした心優しい農民
作家の資料展示。

8.Hirata Koroku Corner
There are many materials about his
works. He was a teacher at Shitamae
Elementary school.



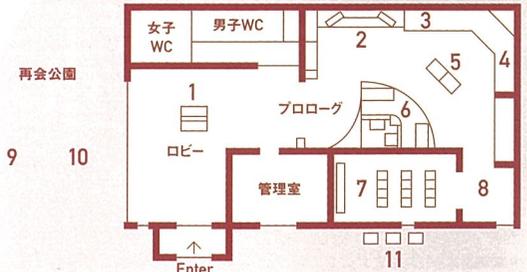
7.ビデオシアター
在りし日のタケの姿と小説「津軽」の太宰とタケを
映像でとらえる。

7.Video Theater
You can watch actual footage of Take, and scenes with
Dazai and Take from the Novel "Tsgaru".



9.小説「津軽」の像
製作:田村進

9.The Statue of Dazai and Take
from the Novel "Tsgaru"
Sculpted by Susumu Tamura.



小説 「津軽」 の像記念館

年号	西暦	年齢	越野タケ 略年譜
明治31	1898	満0歳	7月14日近村元太郎、トヨ(嘉瀬村出身)の四女として金木村で誕生。
38	1905	7歳	4月金木第一尋常小学校に入学(当時義務教育4年制度)。
42	1909	11歳	3月金木第一尋常小学校を卒業。
44	1911	13歳	5月3日から満2歳の修治の子守役(アダコ)として津島家に奉公入りし、朗読や道徳を教える。
大正5	1916	18歳	1月18日津島さき一家五所川原へ分家、女中ヤナと炊事婦同行。小泊村の越野家では下駄屋始まる。
6	1917	19歳	2月頃さき家の女中ヤナが辞めたため、その代わりとしてタケが津島本家から派遣女中として仕える。修治の子守期間は数えの14歳から20歳まで6年8ヶ月。
7	1918	20歳	1月頃縁談があったため、さき家の女中を辞めて金木の実家へ帰る。7月宇小泊41番地の船大工越野正代へ後妻として嫁ぐ。
8	1919	21歳	3月1日借家が火災にあい、12月宇小泊250番地の土地を求め、新宅を三富商店(後に越野金物店)として金物、下駄、葉等販売。
11	1922	24歳	12月長男美治助誕生。
昭和5	1930	32歳	7月五女節誕生(映像音声コーナーに登場している。菓をとりに戻った時太宰と出会い、運動場まで案内した人)。タケは生涯11人の子供に恵まれる。
15	1940	42歳	6月夫正代死亡。
19	1944	46歳	5月27日小泊小学校運動場で太宰と30年振りの再会(五女節13歳が案内する、八女節枝9歳)。
21	1946	48歳	4月生家訪問。
27	1952	54歳	7月五女節小泊村字下前の柏崎家へ嫁ぐ。
29	1954	56歳	越野金物店火災にあう。
31	1956	58歳	越野金物店火災にあう。
40	1965	67歳	太宰治の墓参りのため上京。
42	1967	69歳	8月原作太田治子、主演吉永小百合の映画「斜陽のおもかげ」が小泊でロケ。太田治子、タケと初対面。
56	1981	83歳	RAB特集～昭和19年初夏「津軽」太宰治と小泊村～をテレビで放送する。
58	1983	85歳	12月15日死亡(墓地公園墓標No.120。記念館より約400m)。戒名 法善妙光念竹善大姉(ほうようみょうこうねんちくぜんたいし)。
59	1984		RAB特集～さよならタケさん太宰治心の母近く～をテレビで放送する。
平成元	1989		10月8日青森県北郡小泊村の再会公園に太宰治文学碑及び小説「津軽」の像建立(田村進製作)。 〈碑文〉たけはそれきり何も言わず、きちんと正座してそのモンベの丸い膝にちゃんと両手を置き、子供たちの走るのを熱心に見ている。けれども、私には何の不満もない。まるで、もう、安心してしまっている。足を投げ出して、ぼんやり運動場を見て、胸中に一つも思う事が無かった。もう、何がどうなってもいいんだ、というような全く無憂無風の情態である。平和とは、こんな気持ちの事を言うのであろうか。・・・しばらく経ってたけは、まっすぐ運動場を見ながら、肩に涙を打たせて深い長い溜息をもらした。たけも平気ではないのだな、と私にはその時はじめてわかった。でも、やはり黙っていた。 小説「津軽」より
8	1996		4月26日青森県北津軽郡小泊村再会公園に小説「津軽」の像記念館オープン。若き日のタケ、幼年の修治、青年の太宰のプロンプ像建立。
11	1999		1月長男美治助死亡 3月臨海道路小泊派立から通称カメサバイパスに太宰治著「走れメロス」の「友情の橋」を架設。更に遊歩道護岸に「メロスとセリマンティウス」のレリーフ8枚設置。
12	2000		5月「太宰とタケ再会の道」文学碑6基完成。
15	2003		9月小泊字下前地区ライオン海遊歩道護岸に「タケと太宰治」のレリーフ8枚設置。
18	2006		故越野タケ宅売却。

年号	西暦	年齢	太宰治(だざいおさむ) 略年譜
明治42	1909	満0歳	6月19日源右衛門、タ子(たね)の六男として金木村に誕生(11人兄弟の内10番目の子供)。本名津島修治。津島家は県下屈指の大地主。佐々木さよ(中里町)が2年位乳母として務め、その後、タケが子守として来る。
44	1911	2歳	叔母ききに育てられる。5月3日から満2～8歳(数え3～9歳)まで子守のタケの教育を受ける。
大正5	1916	7歳	1月18日津島さき一家五所川原へ分家。4月金木第一尋常小学校に入学。
6	1917	8歳	2月頃子守のタケが叔母ききの女中として五所川原へ移る。タケの子守を受けた期間は数えの3歳から9歳まで6年8ヶ月。
7	1918	9歳	1月頃タケは叔母ききの女中を辞めて実家金木の近村家へ帰る。
11	1922	13歳	3月金木第一尋常小学校首席で卒業。4月明治高等学校入学。12月父貴族院議員となる。
12	1923	14歳	3月父52歳で急逝。4月青森中学入学、親戚の豊田家に下宿。
14	1925	16歳	3月青森中学「校友会誌」「最後の太閤」発表。
昭和2	1927	18歳	浅虫温泉鶴ノ湯で母・姉達と湯治、太宰も一時泊って受験勉強する。また幼い頃家族と一緒に浅虫温泉椿館や王家旅館(西沢家)に宿泊。4月国立弘前高等文科甲類(英語)に入学。親戚の藤田家に下宿。芥川龍之介の自殺に強いショックを受ける。
4	1929	20歳	12月から1月大鰐温泉・仙遊館で母らと静養。
5	1930	21歳	小泊の今ヨエ(金木出身旧姓太田)昭和10年まで行儀見習として奉公する。4月東京帝国大仏文学科入学。5月井伏鱒二に師事。12月従ヶ関温泉柴田旅館で小山初代と仮祝言をあげる。
8	1933	24歳	東奥日報に「列車」が入選、太宰治の筆名はじめて用いる。「思ひ出」を発表。
12	1937	28歳	小山初代と別離。
14	1939	30歳	1月石原美知子と結婚。
15	1940	31歳	12月「女生徒」が透谷文学賞副賞受賞。「走れメロス」発表。
16	1941	32歳	6月長女園子誕生。8月母を見舞うため帰郷。
17	1942	33歳	12月母タ子死亡(69歳)。この年「正義と微笑」を発表。
19	1944	35歳	5月12日～6月5日 津軽を旅行しタケと再会。8月長男正樹誕生 11月小説「津軽」小山書店より刊行。
20	1945	36歳	4月家損壊。7月金木に妻子と疎開。
21	1946	37歳	7月祖母イシ死亡。11月上京し、この年「冬の花火」など発表。
22	1947	38歳	3月次女里子誕生。6月「斜陽」完成。11月太田静子に女児誕生、治子と命名。
23	1948	39歳	「人間失格」「如是我聞」完成。「グッドバイ」起稿。山崎富栄と入水、13日死亡。6月19日遺体発見(この日を桜桃忌とする。現在は誕生祭)。法名 文経院大猷治通居士(ぶんさいいんたいゆうちうつこうじ/東京三鷹・禅林寺墓地)。
31	1956		8月蟹田町観瀾山に文学碑建立。
40	1965		5月金木町芦野公園に文学碑建立。
平成9	1997		太宰夫人美知子死亡(85歳)。
21	2009		6月19日五所川原市金木町芦野公園に生誕百年記念として「太宰治像」建立。

アクセス



開館時間

4月～10月 | 午前9時～午後4時30分
11月～3月 | 午前9時～午後4時00分

休館日

4月～9月 | 無休
10月～3月 | 毎週月・火曜日
(国民の祝日と重なる場合は翌日)
年末年始 | 12月28日～1月4日

入館料

	個人	団体(20名様以上～)
小・中学生	50円	40円(お一人様につき)
高校・大学生	100円	80円(お一人様につき)
一般	200円	180円(お一人様につき)

小説「津軽」の像記念館

〒037-0511 中泊町大字小泊字砂山1080番地1
TEL・FAX 0173-64-3588